

「版画家たちの世界旅行—古代エジプトから近未来都市まで」展 を開催します

市立国際版画美術館では2023年7月22日から、「版画家たちの世界旅行—古代エジプトから近未来都市まで」展を開催します。

古くから西洋の版画家は、「旅」から作品のインスピレーションを得てきました。芸術家としての修業や仕事だけでなく観光、社会の変化など、旅立つ理由はさまざまですが、険しい山を馬車で越え、大海原を帆船で渡る旅には大きな危険が伴ったことでしょう。鉄道や蒸気船が普及する19世紀には、版画家たちの行動範囲はヨーロッパを越えていきました。それと同時に、これまで見過ごされてきた身近な自然風景やにぎやかな都市生活にも光が当てられるようになります。

本展では、当館のコレクションから西洋版画を中心に、旅や移動に関わる16～20世紀の作品を約160点展示します。古代文明発祥の地であるエジプトから、多くの芸術家を魅了したイタリア、都市と自然が共存するイギリスやフランス、そして高層ビルの建ち並ぶアメリカ・ニューヨークまで——400年の時を超える世界旅行をお楽しみください。

■会場：市立国際版画美術館 企画展示室1・2（原町田4-28-1）

■会期：2023年7月22日（土）～9月24日（日）＜56日間＞

※月曜休館。

ただし9月18日（月・祝）は開館し、9月19日（火）は休館

■開館時間：平日：午前10時～午後5時 土日祝：午前10時～午後5時30分
（入場は閉館30分前まで）

■観覧料：一般800円、大・高生400円、中学生以下無料

※展覧会の詳細は、国際版画美術館公式サイトを参照下さい。

※内覧会は開催いたしません。

